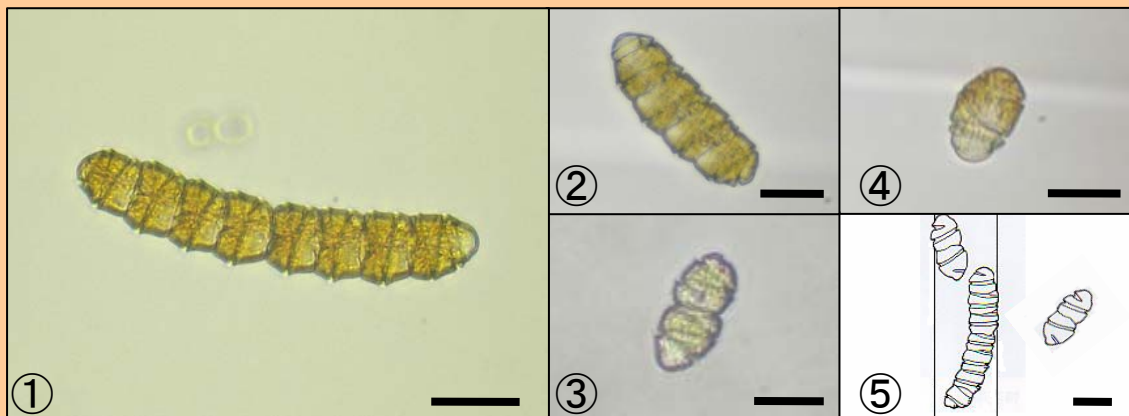


2 コクロディニウム ポリクリコイデス *Cochlodinium polykrikoides*



※ ① 8連鎖 ② 4連鎖 ③ 2連鎖 ④ 単細胞 ⑤ 模式図 — : 30 μ m

特記事項

極めて有害な種類で、平成12年夏季には大規模な赤潮を形成し、八代海で39億円を上回る漁業被害を引き起こした。

特徴

【有害性】 極めて有害

【警報基準】 警報基準細胞数 : 500 細胞/ml
注意報基準細胞数 : 100 細胞/ml

【被害対象】 魚類（トラフグ、ブリ、カンパチ、マダイ等）
貝類（アコヤ等）

【大きさ】 細胞長 : 30-40 μ m、細胞幅 : 20-30 μ m、扁平で紡錘型

【連鎖】 通常2-16連鎖群体を形成（希に単細胞状態も確認される）

【細胞の色】 褐色～黄褐色

【赤潮の色】 茶褐色～赤褐色

【運動状態】 直進する。

【赤潮時期】 5月～9月

【発生海域】 有明海、八代海、天草海

【類似種】



ギムノディニウム カテナータム ギムノディニウム インプディカム